

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

平成31年2月7日

米子市議会議長様

会派名 信風

代表者氏名 中田利幸

提出者氏名 伊藤ひろえ



下記のとおり報告します。

記

項目	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安達卓是、伊藤ひろえ、中田利幸
期日	平成31年2月4日から平成31年2月6日まで
[概要] (年月日・場所・内容)	平成31年2月4日 大分県由布市 「由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画及び都市再生整備計画『湯布院地区』について」 平成31年2月5日 エコファーム国東（大分県国東市） 「施設型農業の取り組みについて」 平成31年2月6日 大分県別府市 「共生社会実現への取り組みについて（ともに生きる条例について）」
[所感]	別紙のとおり
経費	旅費総額 190,706円

由布市行政視察報告

由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画 及び都市再生整備計画「湯布院地区」について

（平成31年2月4日）15:00～17:00

本庁（庄内）議会

説明：商工観光課 衛籐 浩文課長

〔概要〕

まず、「由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画、都市再生整備計画「湯布院地区」説明資料」をもとに丁寧な説明を受けた。由布市は、2005年に狭間町・庄内町・湯布院町の3町が合併して誕生した。湯布院町は温泉をメインに観光が盛んであり、庄内町は神楽が盛んで各地区に神楽があり、梨の特産物もある。狭間町は大分市のベッドタウンとして栄えてきたところで、それぞれの特色がある。現在、人口12000名の湯布院に年間400万人の観光客が訪れる。毎日12000人のまちに12000人程度の交流人口があり賑わいを創っている。しかし、由布市の観光動態をみると、宿泊客が2割でそのほとんどが1泊2日であることから、観光消費額が伸び悩んでいる。また、由布駅前を中心に慢性的な交通渋滞等課題がある。そこで、平成28年～5か年計画で、滞在型・循環型として再構築を計画した。

○情報発信拠点「ユフインフォ」の建設

一級建築士伴茂氏の設計。若者や訪日観光客によるインスタ効果がある情報発信の拠点。観光地の災害対応にも考慮。

○市道駅前中央線改良工事

車両の流れを変え、駅前の渋滞や混雑の解消に加え、商店街に直接流れるしくみをつくり商店街の活性化を図る。

○ゆふクラシック

商工観光課が由布市観光ガイド「ゆふクラシック」作成。女性の目線で作成し、体験メニューや体験ゆふなど滞在型をアピールしている。

○まちなかモビリティ

今後、レンタサイクルのほかに、立って運転する二輪車、三輪車等、様々な移動手段を実証実験する。

約5年前から、訪日観光客が増えていることから、受け入れ態勢や、地元住民を対象とした理解や意識の醸成等課題。

〔所感〕

視察日程の都合で現地を見ることができなかつたのが残念ではあったが、皆生温泉の活性化や米子駅前周辺の活性化の手法について多くのヒントがあった。米子市が誇る温泉医療等を活かしながら健康保養の滞在型・循環型として発展するよう、今回の視察を参考にしたいと思った。

エコファーム国東視察報告

施設型農業の取り組みについて

(平成31年2月5日) 10:00~12:00

エコファーム国東

説明：日出電機エコファーム国東 渡邊 順一社長

今村 祥子課長

〔概要〕

まず、渡邊社長より、事業実施に至った経過や収支の状況、創業より3年が過ぎた今日の感想など含め説明を受ける。

現在は大分県内の39社（スーパー、ホテル、レストラン等）に納品している。配送は自社の自動車2台（1袋あたり5円の費用）。39社は銀行等より紹介を受けたり、営業をして獲得したもので農協の関係はない。販路の量を計算して栽培しているため、現在は6割程度に生産調整を行っている。後、1~2年で販路を確保して広げ、赤字解消となるようめざしている。当初はオリーブを栽培しようとしたり、トマト等他の栽培も各地に出向き研究したが、最終的にレタスを選んだ。パート含め職員は18人。最後の行程は手作業でレタスを洗い、目視で何度も確認しながら袋詰め作業を行うことから18名の職員が必要で、栽培の行程は、コンピューターで管理しているため5~6名程度で行えると説明があった。

〔現地視察〕

概要説明を受けた後、施設内の説明を受けながら見学した。農業学校を卒業した若者も数名雇用され、創業当初からプロジェクトに関わった若者が主に説明を行った。

別紙（見学の模様）

〔所感〕

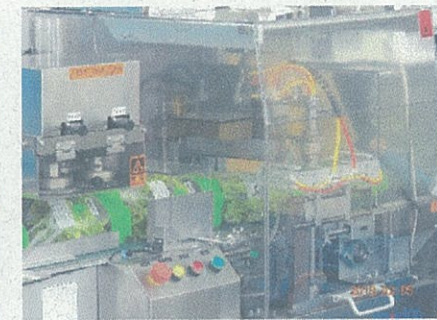
減農薬で、徹底した栽培管理を行い、安心安全なレタスを栽培出荷する。気候変動や災害が増える中、今後の農業において期待できると思った。架台が設置され、腰を曲げなくても仕事ができる環境でもあることから、高齢や障がいのある方でも就業が可能ではないかと感じた。外国の技能実習生が18名中6名を占めていたが、栽培中の温度管理、溶剤の注入、数日も続けて休みが取れない等、栽培管理が徹底していないと安定的な収穫に繋がらないと理解した。レタスの根元にスポンジがついており、冷蔵庫で1週間新鮮なまま保つことができることや、重量オーバーのため、取り除いたレタスの葉の有効活用でカットレタスなども検討している等、家庭や台所事情に合う方法を日々研究していることに民間の弛まぬ努力が覗えた。大変貴重な視察となった。

〔その他〕

適当な交通手段がなく、路線バスで1時間以上乗車したが、路線バスで領収書を求めることが困難であった。路線バスから事務所に電話をしてもらい、後ほど事務所に領収書を取りに行く等煩雑であった。

大分県国東市 施設型農場視察「エコファーム国東」

平成 31 年 2 月 5 日



温度や湿度が管理された施設内、調整管理された水耕栽培用の肥料溶剤で栽培されている多種類のレタスと出荷用包装の様子。

発芽から出荷まで、衛生管理、温度管理などが徹底された施設内で行われており、スーパー等商業施設やホテル、レストランなどへ供給されている。また、立地地域の若年層や主婦のほか外国人の就労もあり、出荷時の品質管理などは人の目と手でチェック体制をとっている。

別府市行政視察報告

共生社会実現への取り組みについて

(ともに生きる条例について)

(平成31年2月6日) 10:00~11:40

別府市議会

説明：福祉保健部 障害福祉課 大野 積善課長

水口 課長補佐

支援係 櫻井 健主任 (社会福祉士)

〔概要〕

まず、「共生社会の実現に向けて ともに生きる条例に基づく別府市の取組」の資料をもとに説明を受けた。別府市は、多くの温泉が湧き出ていることから、障がい関係の施設や病院などが多く存在する。昭和48年度～50年度までは「身体障害者福祉モデル都市」として指定を受け、平成4年～6年度までは「住みよい福祉のまちづくり」の指定を受けるなど障害福祉先進地として今日を迎えている。

条例制定のきっかけは、民間団体からの働きかけだったが、市民から意見を募集して、素案の作成、議会審議を経て約2年で作られた条例である。

条例制定の過程は、「条例制定庁内検討委員会」を設置し、作業部会との意見交換会や市民からのパブリックコメント、タウンミーティングは一般向けに公民館で行い、将来を担う子ども、中学生に対しても行っている。この取り組みが、差別を生まない社会をめざした啓発活動にもなったとうかがえる。

条例には以下の具体的な取り組みが明記されている。

○合理的配慮の推進

生活支援、生活環境、防災、雇用・就労、保健・医療、保育・教育、文化・スポーツ等7分野においてそれぞれ規定している。

○差別事象を解決するための仕組み

差別・虐待が実際に行われた場合の対処を、相談体制の整備と差別事象解決委員会による解決の手助けの2つについて規定している。

○親亡き後等の問題を解決するための取組

保護者が高齢になったり、亡くなるなどして支援が受けられなくなった場合、障がいのある人の生活が成り立たなくなるというのが「親亡き後等の問題」で例えば、80歳の認知症高齢者に50歳ひきこもりの身障者親子など深刻である。

〔所感〕

障がいのある人の割合は、全国平均や県の平均より高く7.41%であることも、条例制定に至った要因ではないかと考える。「世に心身障害者(児)はあっても、仕事に障害はあり得ない。保護より機会を」太陽の家創設者、故中村裕医学博士の言葉が胸に響いた。共生社会実現のため具体的な施策を盛り込んだこの条例の意義を認識することができ有意義な視察となった。

行政視察行程（会派：信風 3名）

月 日	行 程	宿 泊 先
2 / 4 (月)	7:23 7:28 9:38 9:46 11:07 11:39 12:58 13:50 14:23 米子駅 = (伯耆大山駅) = 岡山駅 === 小倉駅 === 大分駅(昼食) == 天神山駅・・・由布市役所 JR 特急やくも 6号 JR 新幹線みずほ 605号 JR 特急ソニック 17号・大分行 JR 久大本線・湯布院行 タクシー	ホテルアーサー ☎0977-25-2611
	由布市行政視察 午後3時ごろから2時間程度 【議会事務局】 ☎：097-582-1111 【調査項目】 由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画 及び都市再生整備計画「湯布院地区」について	
視察終了後	17:13 17:45 17:55 18:07 天神山駅 ===== 大分駅 ===== 別府駅 JR 久大本線・大分行 JR 日豊本線・中津行	
2 / 5 (火)	7:28 7:55 8:05 9:03 別府駅 ===== 杵築駅(杵築駅前バス停) ===== 黒津崎(バス停)・・・エコファーム国東 JR 日豊本線・杵築行 大分交通・杵築駅前一国東・国東行 タクシー	ホテルアーサー ☎0977-25-2611
	エコファーム国東視察 午前10時ごろから2時間程度 エコファーム国東 【調査項目】 施設型農業の取り組みについて ☎：0978-72-2630	
視察終了後	12:27 13:13 13:17 13:28 13:57 14:24 黒津崎(バス停) == 杵築バスターミナル ===== 杵築駅前 ===== 別府駅 大分交通・大分駅前一国東・大分駅前行 国東観光バス・杵築駅前一杵築バスターミナル・中平経由・杵築駅前行 JR 日豊本線・幸崎行	
2 / 6 (水)	別府市行政視察 午前10時ごろから2時間程度 【議会事務局】 ☎：0977-21-1547 【調査項目】 共生社会実現への取り組みについて (ともに生きる条例について)	
	視察終了後 12:18 13:37 13:50 15:15 16:04 18:15 18:21 別府駅 ===== 小倉駅 ===== 岡山駅 ===== (伯耆大山駅) == 米子駅 JR 特急ソニック 28号・博多行 JR 新幹線のぞみ 34号 JR 特急やくも 19号	

旅費計算表

平成31年2月4日 ~ 平成31年2月6日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線名	区 間 キ ロ 数	目的地ま でのキロ 数	運 賃	備 考	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料			
							特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円	
2/4	米 子 ~ 岡 山	JR	159.1		9,040	往復割引	1,240		1,500		9,500	
(月)	~ 小 倉	JR	374.8					4,620				
	~ 大 分	JR	132.9					1,750				
	~ 天 神 山	JR	23.4									
	天 神 山 ~ 大 分	JR	23.4		9,040	往復割引						
	~ 別 府	JR	12.1									
2/5	別 府 ~ 杵 築	JR	21.6		460				1,500		9,500	
(火)	杵 築 駅 前 ~ 黒 津 崎	バス	32.2		1,200							
	黒 津 崎 ~ 杵 築 駅 前	バス	32.2		1,200							
	杵 築 ~ 別 府	JR	21.6		460							
2/6	別 府 ~ 小 倉	JR	120.8		9,040	往復割引	1,750		1,500			
(水)	~ 岡 山	JR	374.8					4,620				
	~ 米 子	JR	159.1					1,240				
計	議 員 旅 費			60,120	21,400	0	5,980	9,240	4,500	0	19,000	
	随 行 旅 費			0								

出 席 議 員 安達卓是、伊藤ひろえ、中田利幸

議員旅費 60,120 × 3名 = 180,360 円
 お土産代 2,862 × 3カ所 = 8,586 円 (由布市、エコファーム国東、別府市)
 タクシー代 1,760 円 (2/4天神山駅→由布市役所700円、2/5黒津崎バス停→エコファーム国東1,060円)
 合 計 190,706 円

信風 会派行政視察
 大分県由布市、エコファーム国東(国東市)、別府市